

令和元年度 学 校 評 価 報 告

草加市立稲荷小学校
(令和2年1月21日作成)

1 学校教育目標 自ら学び (自分の考えをもち、よりよく判断し、行動できる子) 心豊かに (互いのよさを認め合い、高め合える子) たくましく (心と体が健康で、笑顔と希望にあふれる子)	
2 重点目標・努力目標 ・学び合い、関わり合い、自らの学びを深める授業 ・一人ひとりを生かす生徒指導の充実 ・健康・体力づくりの充実 ・落ち着いた教育環境の整備充実(ユニバーサルデザイン化された環境づくり) ・地域に根ざす教育の推進	3 前年度の成果と課題 成果 ○松江中学校と相互に研究授業を行うことで、授業力を向上させることができた。 課題 ●授業ユニバーサルデザインの視点を様々な教科に活用し、「わかる」「できる」授業展開を全職員が行い、児童の学力向上を図る。

4 評価表 ※評価基準 [A: 十分達成している B: おおむね達成している C: やや不十分である D: 不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○学校経営方針について繰り返し共通理解を図り、ほぼ全ての職員が児童理解を心がけ、一人ひとりを大切にした教育の具現化に努めた。 ●校務分掌のあり方を見直し、組織的に分掌内容を行えるよう体制を整える。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○全職員が公開授業を行い、校外の授業研究会に参加し授業力を向上することができた。 ●校内研修の充実を図り、全職員が一丸となって学力向上を推進する。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	B	○健康観察を密に行い、管理職・養護教諭等と連携し、素早い対応を行うことができた。 ●危機管理マニュアルの見直しを図り、緊急事態発生時により安全な対応ができるようにする。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○円滑に危険箇所・修繕箇所を伝え、草加市教育委員会と連携し素早く修繕することができた。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会、 学校評議員制度の活用 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○学校公開の日程を見直し、昨年度に比べ約20%参観者が増えた。教育活動への理解、協力の意識がさらに高まった。 ○スクールパトロール隊等と密に連絡を取り合い、児童の様子について情報共有を図った。
	⑥幼保小中連携	・目指す子ども像の実現に向けた取組 ・中学校との連携 ・校内研修の充実	B	○多くの交流活動を行うことを通して、園児・児童の入学への期待感を高め、不安を解消することができた。 ●幼保小中一貫教育推進に係る研究部会を見直し、中学校区で一丸となって研修を進める。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	・15年間を通じた教育課程の編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保	B	○日課表の改訂により、授業時数を十分確保することができた。 ●行事や校外学習について精選や工夫改善を行う。
	②教科指導	・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用	B	○具体的な見通しをもたせることに重点をおき授業展開を行い、主体的に学習に取り組む姿が見られた。 ●主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善が引き続き必要である。
	③道徳教育	・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進	B	○匠の技伝達事業検収会の実施により議論する道徳の指導方法を学ぶことができた。 ●家庭への啓発、地域社会との連携をより深めていく。
	④外国語活動	・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携	B	○担任とA.L.Tが連携し、指導にあたることで、外国語が楽しいと感じている児童が85%を超えた。 ●児童が外国語を使う必要感を感じられるよう指導方法を工夫改善する。
	⑤特別活動	・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動	B	○児童が主体的に活動する場を設定することで、望ましい人間関係の形成が図られた。 ●児童の更なる自主性を育むための指導方法の充実を図る。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用	B	○地域の施設を活用する活動が年間を通じて、計画的に進められた。 ●指導内容の精選を行い、地域の人材をより活用できるようにする。
	⑦生徒指導	・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携	A	○児童へのアンケートを年4回実施し、気になる児童にこまめに聴き取りを行うとともに、外部人材を含めたいじめ防止対策委員会を開催し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた。
	⑧キャリア教育	・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化	B	○総合的な学習の時間を中心に自分の夢や職業について調べ、実現に向けて具体的な取組を考えさせることができた。 ●中学校との連携をさらに強め、系統的なキャリア教育を推進する。
	⑨特別支援教育	・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備	A	○校内支援委員会の見直しを図り、よりよい協議を行うことができた。 ○全職員が通常学級における配慮を要する児童への支援について研修を深めることができた。
	⑩学校図書館教育	・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫	A	○司書教諭と学校司書や読み聞かせボランティアとの連携により、掲示の工夫やイベント等による啓発活動が行われ、貸し出し冊数が目標である1万冊を超えた。
	⑪情報教育	・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進	B	○ICTサポーターとの連携により、ICTを活用した授業を効果的に行うことができた。 ●携帯電話の使い方を含め、児童の情報モラルの意識を向上させるための指導が必要である。
	⑫人権教育	・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実	B	○職員一人一人が人権感覚を大切に授業作りを行うことができた。 ●各教科との関連をより意識した人権教育を推進する。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①ユニバーサルデザイン	・授業のユニバーサルデザイン化 ・環境におけるユニバーサルデザイン	B	○ICTを使用したり、課題やまとめの色を統一したりし、視覚においてユニバーサルデザイン化が図れた。 ○全学級において、黒板の前面に掲示物を貼らないなどし、児童が集中力して学習に取り組めるようにした。 ●様々な教科において学習内容の焦点化を図り、「わかる」「できる」授業展開を行う。
	②日本語指導	・日本語指導の充実	B	○担任と日本語指導教員とが連携し、日本語の指導を必要とする児童に対し、計画的に指導することができた。 ●日本語の指導を必要とする児童が多いため、指導形態を見直し、全ての児童に対し十分な指導を行う。
	③教育環境の整備	・心潤う教育環境の充実	A	○校庭の学校樹木の剪定をしていただいたことで死角が減り、児童の安全を確認しやすくなった。 ○花と緑の整備、掲示物が工夫され、心潤う教育環境になっている。 ○老朽化した箇所や危険箇所を計画的に修繕していただいた。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- ・3年間の研究委嘱で幼保小中を一貫した教育を研究したことにより、いなり幼稚園・ひかり幼稚舎・松江中学校と連携し、児童の学力及び自己肯定感を向上させるための取組を進めることができた。研究委嘱後の新たな取組である「相互授業参観」から15年間で意識した授業を心がけることができた。また、「松江中学校合唱コンクール優秀クラスによる合唱披露」「6学年による松江中学校施設体験」「松江中美術作品展示」から児童の自己肯定感を高められた。
- ・グランドゴルフやふささら枝豆の栽培の指導者として地域人材を活用することにより、地域の本校に対する理解が深まった。
- ・学校の取組についての保護者アンケート（85%回収）では、12項目中10項目において「よくあてはまる」「あてはまる」が90%以上のよい評価をいただいた。

6 次年度の改善策

- ・松江中学校区の幼保小中の連携を図りながら、今年度の取組を見直し・精選し、めざす子ども像の実現に向け研究を継続する。
- ・幼児期の教育の成果を各教科等でさらに生かせるようにスタートカリキュラムの見直しを行う。
- ・授業ユニバーサルデザインの視点を様々な教科に活用しつつ、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を行い、児童の学力向上を図る。
- ・算数科の授業の基本の流れや授業規律等において共通理解・共通行動を行う。
- ・児童の生命と安全の確保の視点から、安全点検の方法を見直すとともに、学習環境や施設の老朽化について、草加市教育委員会の協力を得て、引き続き整備・改修を進めていく。